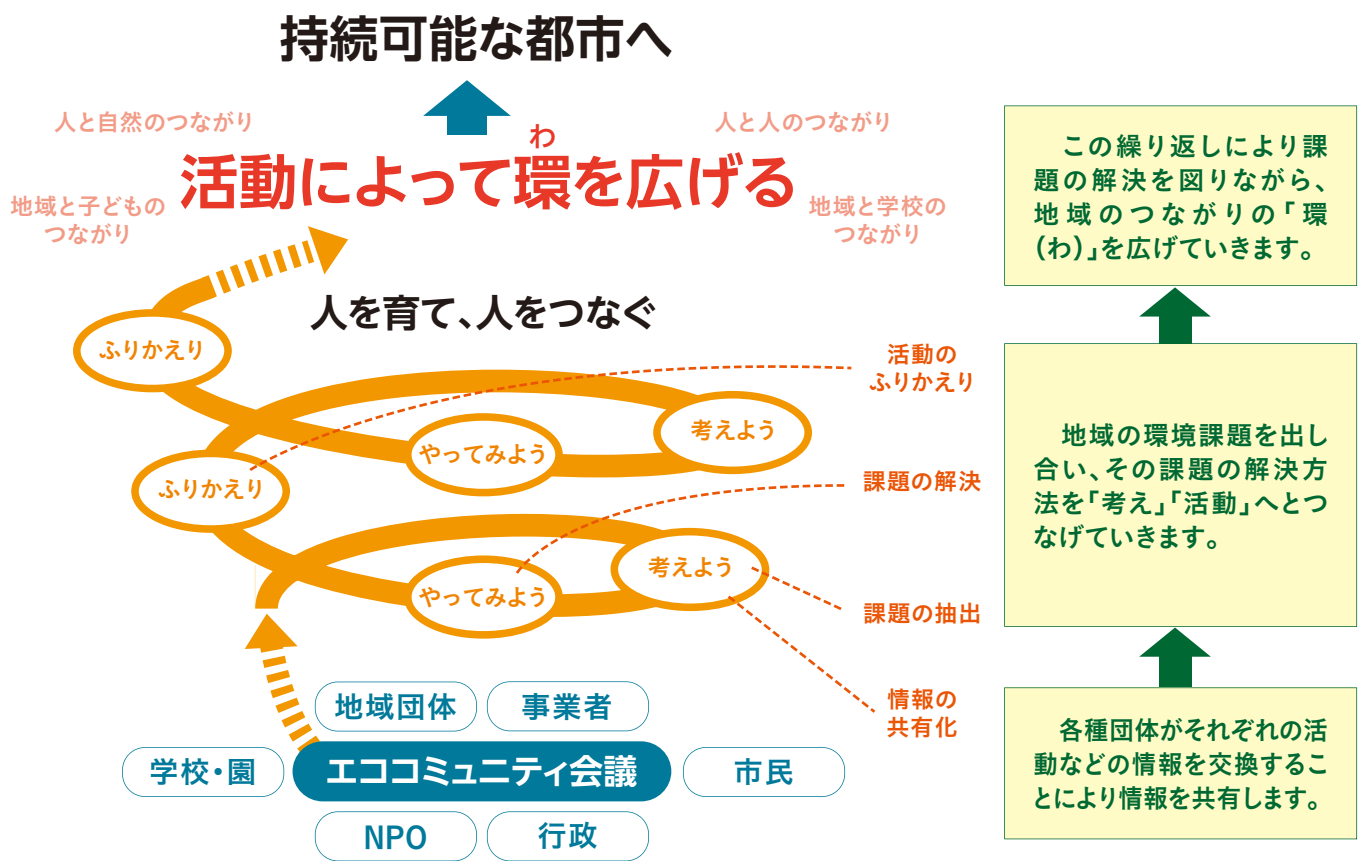


# エココミュニティ会議

環境学習都市宣言の理念を実現するために誕生したエココミュニティ会議。  
組織形成が目的ではなく、地域のさまざまな人が集まり、  
地域課題の解決に向けた話し合いや会議を続けることで次世代の育成を図っています。

## エココミュニティ会議の活動

エココミュニティ会議は、地域に根ざした環境まちづくりの推進を図るために設置された場です。各地域における環境課題について話し合い、地域の多様な団体が連携することによって、その解決をめざします。また、活動には大人から子どもまで幅広い世代に参加を呼びかけ、地域づくりを担う次世代の育成にも取り組んでいます。



## 多様な地域課題



ごみ減量研修会



マイバッグ運動



ホテルウォークラリー



緑のカーテン設置

# エココミュニティ会議交流会

現在市内で活動している各エココミュニティ会議と環境計画推進パートナーシップ会議の委員などが集まり、情報・意見交換の場としてエココミュニティ会議交流会を開催しています。EWC パネル展の見学や、情報交換会などを行い、他の地域の日頃の活動や環境についての情報交換を通じて、今後の活動の可能性を大きく広げています。



## 過去の情報・意見交換のテーマ

### 平成23年度

#### ■ 次世代、特に小学生の子どもたちに伝えるべきこと、伝えたいこと

##### 〈参加者の声〉

- 「環境学習～大人から子どもに示していきたい～」  
…自然環境を受け継いでもらいたい。
- 「自然を大切に未来に残す」  
…自然の恵みに感謝し、地域の自然を大切にすることを伝えたい。
- 「当たり前と思わない。豊かな資源とエネルギー資源」  
…自然に感謝することの大切さを伝えたい。
- 「震災の経験、社会のルール（助け合いなど）」  
…人々に対する思いやりを大切にしてほしい。
- 「人と人とのつながりを大切に、コミュニティを大切にしよう」  
…人は一人では生きていけない。誰かとつながっていることで、他人を思いやる心が育つ。
- 「地球への愛着を大切にしたい」  
…まずは、地域の自然を大切にすることから持ってもらいたい。
- 「人や自然を大切にする人間に」  
…若い人には、思いやりを持つ人に育ってほしい。

### 平成24年度

#### ■ 活動をしてよかったこと、うまくいかなかったこと

##### 〈参加者の声〉

##### よかったこと

- 小・中学生の参加が多い
- 学校との連携ができた
- 活動を通じて、人とのつながりが生まれた
- 身近な問題を取り上げることができた
- 地域と他団体、企業との協力や連携ができた
- メンバー間の役割分担が明確。コミュニケーションがうまくいっている
- 地域の歴史などを学ぶことができた
- お隣のエココミとの交流会、共催事業、協力もできた

##### うまくいかなかったこと

- 地域住民への広報、PRが難しい
- メンバー集め（人材、若年層の協力）
- 行事の日程調整に苦労した
- 行事の申込者が少ない
- 会議の欠席者が多い
- 市民活動カードの関心が低い

# エココミュニティ会議地域図

平成18年(2006)3月、市内初となる学文エココミュニティ会議が発足しました。現在(平成26年2月末時点)では、19のエココミュニティ会議が発足し、地域の課題に応じたさまざまな活動を展開しています。

<b>活動エリア</b>	中学校区を目安に、活動や人のつながりを考えて設定しています。
<b>構成メンバー</b>	市民・事業者・行政それぞれが参加しています。
<b>活動内容</b>	各地域の実情をふまえて地域課題に応じた活動を行っています。



活動の発表



稲刈り体験



省エネ活動表彰式



まち歩き



自然体験